SuMPO EPD JAPAN VERIFIED

SuMPO環境ラベルプログラム (SuMPO EPD)

Third party verified

Environmental Product Declaration

In conformance with

ISO14025 | ISO14040 | ISO14044

株式会社 サイプレス・スナダヤ

Cypress Sunadaya CO., Ltd.

ディメンションランバー（スギ）

Dimension Lumber（Cedar）



登録番号	検証合格日	公開日	検証有効期間	EPDタイプ
SuMPO-EPD-2611-282-1	2026/11/10	2026/11/20	2031/11/9	グループ製品EPD

※更新された場合は初版公開日

追加の準拠規格

ISO21930:2017

EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。
EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。
https://ecoleaf-label.jp/epd/search

●基本情報

＞プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェブサイト	https://ecoleaf-label.jp

＞GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.2.0
PCR名称	建設用木材・木質材料
PCR登録番号	SuMPO-PCR-01002-2-0-0
PCR認定日	2026/04/17
レビューパネル委員長（所属）	服部　順昭（東京農工大学）
PCR有効期限	2031/04/16
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

＞検証情報

検証の種類	ISO14025及びISO21930:2017に従った第三者検証		
	□ 内部	■ 外部	
	□ 検証員による第三者検証	■ 検証機関による第三者検証	□ EPDシステム認証による第三者検証
検証機関（検証実施者）	一般財団法人カケンテストセンター（伊藤 未緒）		

＞準拠規格

準拠規格	■ ISO14040:2006	■ ISO14044:2006	□ ISO14067:2018
	■ ISO14025:2006	□ ISO21930:2007	■ ISO21930:2017
	□ EN15804+A2	□ EN50693:2019	□ ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、建設製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、建設製品における建材のライフサイクル全体を考慮し、建設製品において同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。
EPDの比較可能性は、機能単位を適用しているものに限定されます。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。

加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

●EPD取得事業者情報

事業者名・部署名（日・英）	株式会社サイプレス・スナダヤ生産本部 Production Division,Cypress Sunadaya Co., Ltd.,
住所	愛媛県西条市小松町新屋敷甲1171番地1
問い合わせ先	TEL 0898-72-2421　FAX 0898-72-2422
LCA算定実施者（所属）	株式会社ヴォンエルフ
事業者概要	木材製材品、集成材品、CLTの製造、加工、販売

Environmental Product Declaration for Dimension Lumber（Cedar）

●製品情報

製品名称（日・英）		ディメンションランバー（スギ）Dimension Lumber（Cedar）		
製品の型式		ディメンションランバー 2×4/2×6		
製品仕様	製品機能	木質構造建築に使用される木質材料		
	製品質量	380.7kg ※対象期間の生産による算定値	換算係数	380.7kg/㎥
	製品の用途	枠組壁工法建築物の構造耐力上主要な部分に使用される構造用部材		
	技術性能	JAS規格（枠組壁工法構造用製材）に準拠した木質建材		
耐用年数	年数	建物等の使用期間に準ずる		
	使用条件	建物等の使用条件に準ずる		
	年数を設定した根拠	ー		
製造サイト（製造拠点）		本社工場(愛媛県西条市小松町)、東予インダストリアルパーク工場(愛媛県西条市北条)		
製品概要		国内で最も豊富に存在する針葉樹資源である杉を原料とした、2×4（38mm×89mm）および2×6（38mm×140mm）規格の無垢材・フィンガージョイント材によるスタッド製品で、枠組壁工法の構造建築用材に使用される。		
製品ウェブサイト		https://www.sunadaya.co.jp/		

●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量	
スギ	99.9	380.00	kg
接着剤(イソシアネート系)	0.1	0.46	kg
包装材構成要素	割合 (%)	質量	
PPバンド	25.3	0.07	kg
梱包用養生ポリシート	74.7	0.20	kg

●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO_2 eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	165.30	606.10
提供先にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	0.00	0.00

●LCA 関連情報

＞EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	□ 単一製品	■ グループ製品	□ 業界製品
	サイトタイプ	■ 単一サイト	□ 複数サイト	
地理的範囲		グローバル		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける代表性の説明		各製品で使用する1m3あたりの原料は同一、製造サイトも日本の同一サイトであること、また全ての原料投入量、エネルギー等消費量について一次データを収集して算定評価を行っていることから代表性は確保されていると考えられる。		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける、算定結果の上下幅に関する説明		各製品の製造は全て同一サイトで生産をされており、宣言単位1m3あたりの製造時における各種資材（接着剤を除く）・エネルギー投入量などは同一条件である。1m3あたりの接着剤投入量の差異による算定結果の差異についても対象の開示項目において上下10％以内に収まる。		
複数製品EPDの説明		同一サイト・素材・プロセスで製造される断面寸法の異なる製品を1m3あたりに換算してEPDを開示している。		

＞LCA関連情報

宣言単位		製品1m3あたり		
宣言単位当たりの質量（質量への換算係数）		380.7kg/㎥		
基準フロー（機能単位を満たすために必要な製品数）		－		
システム境界		■ Cradle-to Gate	□ Cradle-to-Gate with options	□ Cradle-to-Grave
LCAソフトウェア		MiLCA ver1.2.5.1		
LCIデータベース		AIST-IDEA v3.5.1		
特性化モデル		GWP IPCC2021 100a、LIME2		
その他のバックグラウンドデータ		－		
二次データ品質		GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。なお、データ品質評価はISO 14044：2006（環境マネジメント－ライフサイクルアセスメント－要求事項及び指針）の4.2.3.6 に従って行った。		
一次データ収集拠点		本社工場、東予ｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｱﾙﾊﾟｰｸ工場		
一次データ収集期間		2025年4月～2026年3月		
生物由来炭素の取り扱い		□ 0/0アプローチ	■ -1/+1アプローチ	
電力契約に関する情報	使用有無	■ 国や地域の平均的な電力ミックス	■ その他	
	種類	東予インダストリアルパーク工場の一部でオンサイトPPA（Power Purchase Agreement）による太陽光発電電力供給サービスを利用している。		
	購入日	環境価値付帯の自家消費型のため該当なし		
	発行元	環境価値付帯の自家消費型のため該当なし		

＞算定対象段階

資材製造段階			施工段階		使用段階							解体段階				境界外
					資材関連					光熱水関連						
A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
原材料の調達	工場への輸送	製造	現場への輸送	施工	使用	維持保全	修繕	更新	改修	エネルギー消費	水使用	解体・撤去	廃棄物の輸送	中間処理	廃棄物の処理	潜在的な負荷と便益
■	■	■	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

■ ：算定対象　－ ：算定対象外

＞アロケーション

本算定では、GPIに記載の手順でプロセスの細分化およびアロケーションを検討した。
特に製造工程における燃料、電力、乾燥用蒸気の割り当てについては、対象製品と対象外製品に対する工程や時間に変化がないことから、工程による生産高（物理量）割合で対象製品へのアロケーションを実施した。
製材工程、寸法調整、仕上切削工程により、バーク、鋸くず、チップ、プレーナーくず、端材等の副次製品（ボイラー燃料または買い取り業者による引き取り）が発生しているが、副次製品については、製造目的ではないためエネルギー、水等のアロケーションは行っておらず、システム境界内で対象製品がすべて負荷を負担している。

＞カットオフ

製造機器等への消耗品にかかる負荷は、PCRの規定によりカットオフ対象のため、カットオフを行った。また、JAS規格製品であることの印字については依頼先により必要・不要があり、代表値や特定値把握が困難なため重量比でも1％未満であること、有害性観点からも問題ないことを確認し、カットオフとした。
その他、算定対象の原材料、副資材、エネルギー、水等に対してカットオフは行っていない。

＞システム境界

PCRに基づきシステム境界の設定を行った。GPIおよびPCRにて境界外プロセスと定められたDと、A4～Cを算定対象外としている。時間的システム境界は100年である。
算定範囲はCradle to GateのA1・A2・A3である。
以下の項目はPCR4.4.6に基づいて、システム境界外として算定対象範囲から除外した。
・従業員の業務従事や移動等に係るプロセス
・研究開発や事務等に係るプロセス
・製造施設や設備等の資本財の製造及び建設に係るプロセス（発電所及び発電設備を除く）
・輸送で使用されるトラックや船舶等の製造に係るプロセス
・作業着や軍手等、評価対象とする製品の製造以外にも使用する汎用的な物資に係るプロセス

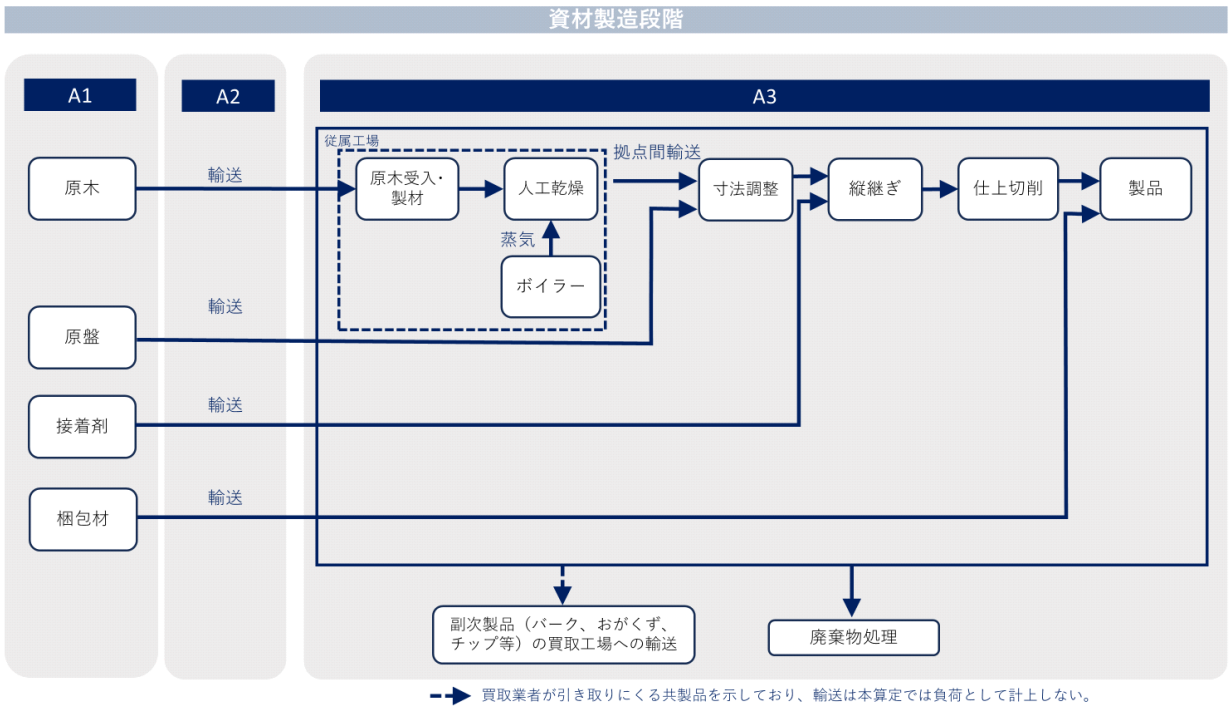
＞シナリオ

モジュール	説明
A2	輸送時の車両および積載率についてはPCRのシナリオを適用した。
A3	輸送時の車両および積載率についてはPCRのシナリオを適用した。 ただし、マニフェスト等により輸送方法の1次データを取得したものは1次データにより算定した。

＞電力モデリング

対象とする全てのライフサイクル段階において、2022年における日本平均の系統電力のデータを用いて算定を行った。
また、東予インダストリアルパーク工場ではオンサイトPPA（Power Purchase Agreement）による太陽光発電電力供給サービス（環境価値付帯）を併用しており、こちらの電力については、2022年における日本平均のエネルギー源別太陽光発電のデータを用いた。

＞ライフサイクルフロー図



●算定結果

＞ライフサイクル影響評価結果

		資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
								資材関連					光熱水関連						
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
気候変動 - 合計	kg-CO_2eq	-1.37E+03	4.04E+01	8.80E+02	-4.46E+02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
気候変動 - 化石由来	kg-CO_2eq	7.70E+01	4.03E+01	4.21E+01	1.59E+02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
気候変動 - 生物由来	kg-CO_2eq	-1.44E+03	7.70E-03	8.38E+02	-6.06E+02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
気候変動 - 土地利用及び改変	kg-CO_2eq	1.84E-01	4.15E-02	4.77E-02	2.74E-01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	1.21E-06	4.87E-10	7.58E-08	1.29E-06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富栄養化	kg-PO_4^{3-}eq	9.59E-03	1.88E-07	1.10E-05	9.60E-03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
酸性化	kg-SO_2eq	6.21E-02	5.71E-02	1.47E-01	2.66E-01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
光化学オキシダント生成	kg-C_2H_4eq	5.19E-04	3.83E-04	4.14E-04	1.32E-03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
追加オプションのライフサイクル影響評価指標																			
非生物資源枯渇 - 鉱物	kg-Sbeq	4.44E-04	1.69E-07	2.76E-04	7.20E-04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

＞ライフサイクルインベントリ分析関連情報―一次資源の使用に関する指標

		資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
								資材関連					光熱水関連						
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
再生可能一次資源 - エネルギー（RPR_E）	MJ	1.54E+02	2.54E-01	5.99E+02	7.53E+02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
再生可能一次資源 - エネルギー含有材料（RPR_M）	MJ	1.71E+04	3.82E-04	1.88E-02	1.71E+04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
非再生可能一次資源 - エネルギー（$NRPR_E$）	MJ	1.09E+03	4.44E+02	1.00E+03	2.53E+03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
非再生可能一次資源 - エネルギー含有材料（$NRPR_M$）	MJ	4.62E+01	1.69E-03	6.41E-01	4.68E+01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

＞ライフサイクルインベントリ分析関連情報―二次資源の使用に関する指標

		資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
								資材関連					光熱水関連						
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
二次材料	kg	2.51E-01	1.66E-04	6.71E-02	3.19E-01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
再生可能二次燃料	MJ	6.84E-01	1.08E-04	4.38E-03	6.88E-01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
非再生可能二次燃料	MJ	2.12E-01	6.62E-04	1.30E-02	2.26E-01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
回収エネルギー	MJ	2.72E+00	4.16E-03	6.05E+00	8.78E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

＞ライフサイクルインベントリ分析関連情報―非生物資源-化石燃料、淡水の消費量

		資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
								資材関連					光熱水関連						
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
非生物資源枯渇-化石	MJ	1.11E+03	5.49E+02	5.73E+02	2.23E+03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
淡水の消費	m^3	1.96E+03	2.09E-02	2.95E-02	1.96E+03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

＞廃棄物関連情報

		資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
								資材関連					光熱水関連						
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
有害廃棄物	kg	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無害廃棄物	kg	3.49E-01	3.61E-02	2.13E-01	5.98E-01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高レベル放射性廃棄物	m^3	3.68E-10	6.24E-13	8.17E-10	1.19E-09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中および低レベル放射性廃棄物	m^3	3.75E-07	6.50E-10	8.31E-07	1.21E-06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

＞出力フローに関する環境情報

			資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
									資材関連					光熱水関連						
			A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
再利用可能な部品		kg	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
リサイクル用材料		kg	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
エネルギー回収用材料		kg	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
廃棄物からの排出エネルギー（エネルギー回収効率≧60%）		MJ	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
廃棄物の焼却（エネルギー回収効率＜60%）	廃棄物焼却処分量	kg	0.00E+00	0.00E+00	7.36E-02	7.36E-02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	回収エネルギー	MJ	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
廃棄物の埋立て（廃棄物の埋立てにより発生する埋立ガスからのエネルギー回収）	廃棄物埋立処分量	kg	0.00E+00	0.00E+00	9.42E-02	9.42E-02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	回収エネルギー	MJ	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

＞LCA算定結果に関する説明

・本宣言は製造段階（A1：原材料の調達、A2：原材料の輸送、A3：製品の生産）の算定結果である。
・A2,A3の輸送シナリオについては、輸送時の車両および積載率についてはPCRのシナリオを適用した。
ただし、マニフェスト等により輸送方法の1次データを取得したものは1次データにより算定した。
・輸送距離は全て一次データに基づく。
・グループ対象製品の算定結果は、データ収集年によって各製品の受注数量が一定ではないため変動する可能性がある。
・本製品では、プレカットプロセスおよび施工にかかるプロセスを算定対象としていない。

●追加環境情報

＞LCAに関連しない追加環境情報

・本製品製造に投入される原木は、全てクリーンウッド法の適合木材を使用。原木を取り扱う製材工場として「第1種」の証明と木材　加工品を取り扱う集成材工場として「第2種」の証明と、両方の証明を取得している。
・本製品はFSC及びSGECについて、認証木材が加工・流通過程で適切に管理されていることを証明するCoC認証を取得している。

＞有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照
4,4-ジフェニルメタンジイソシアネート	101-68-8	安衛法, PRTR法, 化審法
ポリメチレンポリフェニルポリイソシアネート	9016-87-9	PRTR法

建材および建設製品からの危険物質の放出
–

●用語の定義

–

●参考文献

・ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines
・ISO21930:2017 Sustainability in buildings and civil engineering works — Core rules for environmental product declarations of construction products and services
・林野庁「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン」

●改訂履歴

–